



桐生ロータリークラブ週報

2004年

国際ロータリー第2840地区 2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

手を貸そう Lend a Hand

R.I 会長 ジョナサン B. マジアベ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原勝樹

会長 久保田 裕一 幹事 牛腸 章

クラブ会報・広報委員会 塚越 紀隆・茂木 巍



5月10日号

第2477回例会

(4月26日(月) 第4例会)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 点鐘 | 7. 会長の時間 |
| 2. ロータリーソング齊唱「奉仕の理想」 | 8. 幹事報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 9. 委員会報告 |
| 4. 退会あいさつ | 10. 卓話 「世界一周ぶらり旅」 |
| 木村 隆夫君
黛 敏夫君 | 越智 菊男様 |
| 5. 米山奨学期間終了あいさつ 苗志輝さん | 11. 点鐘 |
| 6. 米山カウンセラー委嘱状の伝達
蓮直孝君 | |

ようこそビジター

〈卓話者〉 越智菊男様 〈米山奨学生〉 苗志輝さん

米山奨学期間終了あいさつ



米山奨学生
苗志輝さん

桐生ロータリークラブの皆さん

つづじやさつきの花が満開になった今日この頃、寒くなく暑くなくよい陽気で皆さんにはきっと元気に過ごしていたことと思います。私はこのように桐生クラブに訪れるのは一ヶ月半ぶりですね。これが米山奨学生として最後の例会だと思うと寂しくなってしまいます。一年前米山奨学生として初めてここに来た時のことは今でもはっきりと覚えています。暖かく迎えて下さった当時の会長の阿部さん、幹事の蓮さん、あり

がとうございました。毎月一回の例会を大変楽しみにしておりました。それは奨学金を頂けるのだけではなく、皆さんに会えることができ、ためになる卓話が聞けるからでもあります。私も卓話をする機会を頂きました。いつも聞く立場にいる私ですが、「なにを話そうかなあと相当悩みました。」結局、友達とマレーシアに行つた時のことを話したのを皆さん覚えていらっしゃいますか。その時は私が真剣に聞いてくれた皆さんにとても勇気付けられました。それから、夏の納涼会、冬のクリスマス会と新年会も参加させて頂き、モンゴルダンスも披露させて頂いた会長の久保田さん、幹事の牛腸さん、ありがとうございました。毎回違うテーブルに座り、多くの人と話したらと進めてくれたカンセラーや坪井さん、ありがとうございました。体調が崩れた時、休みにも関わらず診てくださった藤江先生、ありがとうございました。この他に自転車で来ている私を見かけた会員は「寒くないかい?」と声をかけてくれましたし、またテーブルに座ると「お茶をどうぞ」と同じテーブルに座っている会員がいれてくださいま

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/>

メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

した。こんな一見小さなことでも、とても心が温まりました。私は常にありますことを考えていました。やさしく親切にして頂いたことに対し、一体自分はなにができるのでしょうか。もちろん、一生懸命勉強するのもひとつですが、自分が親切にして頂いたことを國の人々に伝え、そして自分も周りにいる人々に親切にするのもひとつの答えではないかと思います。今後このことを目標に生涯努力していきたいと思います。短い一年間でしたが、皆さんに大変お世話になりました。どうもありがとうございました。これからも米山奨学生であったことを誇りに思い、やるべきことを確実にこなし、充実した学生生活を送りたいと思います。最後になりますが、いつも連絡などして頂いた事務局の茂木さんにも感謝いたします。

会長の時間

4月21日(水)は伊勢崎ロータリークラブの50周年記念祝典に幹事共々出席してきました。此のクラブは、21名のチャーターメンバーで東京RCと前橋RCをスポンサーとして、昭和29年に出来たクラブです。現在会員68名(チャーターメンバーはいらっしゃいません)、最年長者は84才で、最長在籍者は41年、又最長出席率100%者は40年とのことです。我がクラブの吉野パストガバナーにはとても及びません。

尚、残念な事ですが本日木村隆夫様と黛敏夫様御両人から退会の御挨拶がありました。御両人共々益々これからロータリーライフを楽しもうとしていましたが、誠に残念に思います。どうぞこれからもお体に気をつけ御活躍下さい。

“咲啄の桜咲きけり今日を生き” 広人

幹事報告

○桐生南、桐生西、桐生中央の各RCより週報到着。
○次週5月3日(月)の例会は祝日のため休会となります。
次回例会は5月10日(月)ですので、お間違えのないようお気を付け下さい。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成16年4月26日):総員63名・出席50名
平成16年4月12日例会修正出席率:74.50%

ニコニコボックス

五十嵐健雄君…藤江先生に大変ご面倒を戴き、ありがとうございました。／岡部信一郎君…誕生祝／岸田信克君…おじいちゃんに成りました。／館 盛治君…先週北川先生に大変お世話になりました。

次年度幹事より次年度委員長会議のご案内

日 時 平成16年5月12日(水)

午後6:00集合(食事6時~)

午後6:30開会

場 所 桐生俱楽部 2階広間

※委員長欠席の場合は必ず代理の方の出席をお願いします。

卓話



「世界一周ぶらり旅」

越智菊男様

多くの人は、世界一周旅行と聞くとどのような旅行をイメージするのでしょうか？ごくごく限られた人たちだけの旅行と考える方が多いのではないかでしょうか？そして、まだまだ自分たちには縁の遠い物だと考えられる方がほとんどだと思います。

近年の航空券の値下がり(格安航空券の登場)により数年前と比較すると、どこかを目的地とする、海外への往復旅行は驚くほど手軽に行けるようになりました。

それと比較すると、世界一周旅行という物に対してはどうしても一歩引いた感じになってしまっているように感じます。実際にはこちらも非常に身近になってきているのですが…。

ただし身近になっているとはいって、それを実施するためには、時間的な問題や金銭的な問題などの諸問題が山積していることもまた事実です。

また情報不足からくる未知の国々への不安や、毎日ニュースで洪水のように伝えられる、観光客が巻き込まれる数多くの犯罪事件、交通事故などの情報もまた世界一周旅行を遠い存在にしている大きな要因であると考えられます。

言葉の問題や食事の問題もあるでしょう、そして気候の問題ももちろんあるでしょう。それらの不安要因を数えはじめたらきりがありません。

越智様が幼少の頃から持ち続けていた夢である「世界一周旅行」を実現するに至った経緯と、夢の実現に一役買ってくれた「世界一周チケット」の存在、その旅を通じて見てきた物、感じたことや祖国日本に対する誇りと愛着を実感した事。

そしてその経験を活かして生きていく、「今後の自分自身に対する期待」を織り交ぜながらの貴重なお話を聞かせて頂きました。

*お詫びと訂正

週報4月12日号の幹事報告の中に掲載いたしました、地区協議会の期日に誤りがございました。

(誤)平成16年5月18日(土)

↓

(正)平成16年5月8日(土)

大変失礼いたしました。